おとくライン
付加サービス
ご利用ガイド

日本の電話サービスを、変える。

おとくライン
付加サービス

ご利用ガイド別冊

代表取扱／ダイヤルイン回線版

SoftBank

代表取扱／ダイヤルイン回線での付加サービスご利用について

本冊子は、代表取扱の回線とダイヤルイン回線で付加サービスを利用する場合の注意事項をまとめたものです。
各付加サービスでのカスタマーコントロールやリモートコントロール等基本的な操作方法については「付加サービス（ご利用ガイド総合版）」をご参照ください。

目　次

多機能転送サービスご利用について　3

1 代表取扱回線での多機能転送サービスご利用について　アナログ　ISDN　4

（1）アナログ回線 …… 4
（2）ISDN回線 …… 8

2 ダイヤルイン回線での多機能転送サービスご利用について　ISDN　10

ダイヤルイン故障時切替サービスご利用について　アナログ　11

番号通知リクエストサービスご利用について　アナログ　ISDN　16

着信お断りサービスご利用について　アナログ　ISDN　17

多機能転送サービスご利用について

（1）代表取扱回線

・アナログ回線のみで構成された代表取扱回線
・ISDN回線のみで構成された代表取扱回線
＊アナログ回線/ISDN回線が混在した代表取扱回線ではご利用いただけません。

（2）ダイヤルイン回線

・ISDN回線のみで構成されたダイヤルイン回線
＊アナログ回線のみのダイヤルイン回線、アナログ回線/ISDN回線が混在したダイヤルイン回線ではご利用いただけません。

1 代表取扱回線での多機能転送サービスご利用について

(1)アナログ回線

◆着信時の動作について

代表取扱回線の各回線への着信状況は次の通りとなります。

①自動転送をすべて停止しているとき
着信状況は通常の代表取扱回線と同じになります。

②自動転送を開始している回線があるとき
代表取扱回線のうち、転送を開始している最下位の回線までが、以下の通り着信または転送の対象となります。

・多機能転送サービスをご契約いただいている回線のうち、転送を開始設定している回線は、転送します。
・多機能転送サービスをご契約いただいている回線のうち、転送を停止設定している回線は、代表取扱回線として通常どおり電話を受けられます。
・多機能転送サービスをご契約いただいていない回線は、代表取扱回線として通常どおり電話を受けられます。

注）回線ハント方式をラウンドロビン方式でご契約の場合でも、１回線でも転送開始設定の回線があると順次サーチ方式での動作となります。

◆ご利用にあたっての設定方法について

代表取扱回線での多機能転送サービスの設定方法※は、「一括設定」と「個別設定」があります。

※設定方法についてはお申し込み時にすでにご選択していただいております。

①一括設定をご利用の場合

自動転送の開始/停止の設定	代表親回線で一括して設定します
その他の設定　例：転送先電話番号	各回線ごとに個別に設定します

②個別設定をご利用の場合

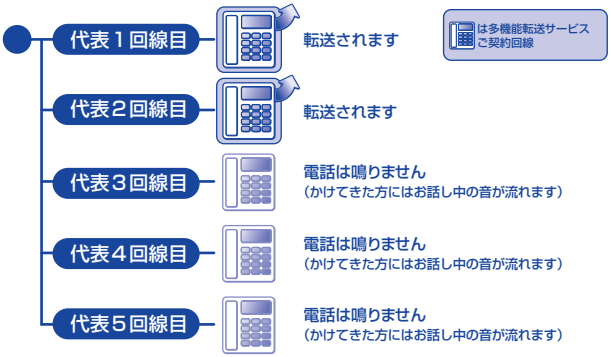
自動転送の開始/停止の設定	各回線ごとに個別に設定します
その他の設定　例：転送先電話番号	

【転送例】

Ⓐ親番号で着信した場合

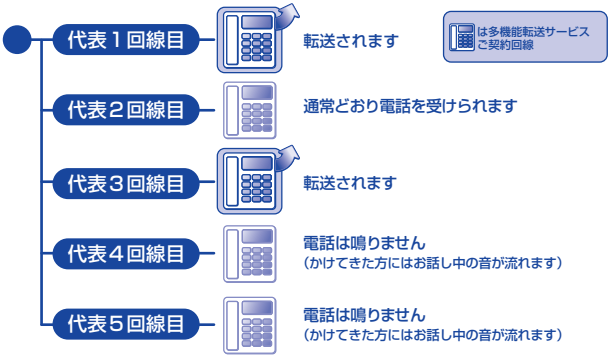
①一括設定をご利用の場合

代表５回線のうち１、２回線目に多機能転送サービスをご契約いただいており、どちらの回線とも転送開始を設定中の場合。

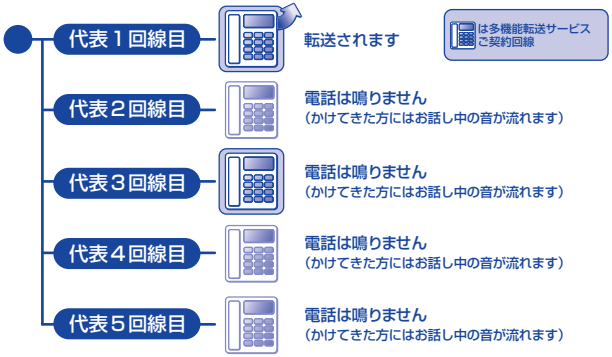


②個別設定をご利用の場合

例１ 代表５回線のうち１、３回線目に多機能転送サービスをご契約いただいており、どちらの回線とも転送開始を設定中の場合。

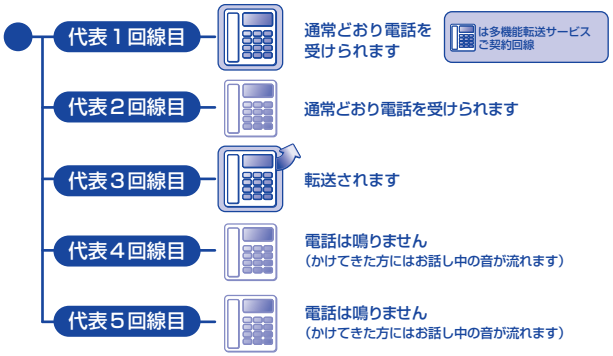


例2 代表５回線のうち1､3回線目に多機能転送サービスをご契約いただいており､1回線目のみ転送開始を設定中の場合。



＊代表子回線へ直接かけたときは、該当する回線の電話は通常どおり受けられます。

例3 代表５回線のうち１､３回線目に多機能転送サービスをご契約いただいており､３回線目のみ転送開始を設定中の場合。

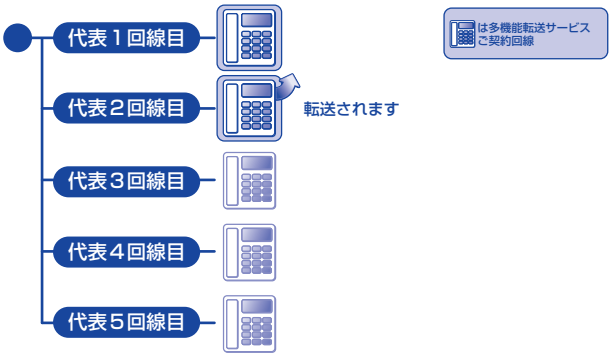


＊代表子回線へ直接かけたときは、該当する回線の電話は通常どおり受けられます。

Ⓑ代表子回線へ直接着信した場合

転送を設定している代表子回線へ直接着信しても転送できます。

代表5回線のうち1、2回線目にご契約。
どちらの回線とも転送開始設定中。
2回線目に直接着信したとき。



【注意】

◆着信専用回線でのご利用について

着信専用回線からもカスタマーコントロールをご利用いただけます。
(カスタマーコントロール用回線を別に準備する必要はありません)

◆発信専用回線でのご利用について

発信専用回線では多機能転送サービスはご利用いただけません。

◆リモートコンロールのご利用について

①転送開始 / 停止
一括設定をご利用の場合、子番号に対する転送開始 / 停止操作はできません。

②転送先変更
一括設定をご利用の場合で親番号に対して転送先を変更したとき、また、個別設定をご利用の場合、転送先変更と同時に転送開始状態となります。その他の場合は別途転送開始の操作が必要となります。

(2) ISDN回線

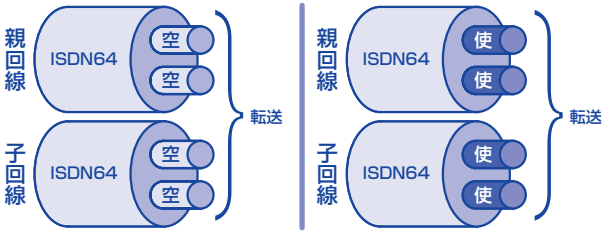
◆着信時の動作について

Ⓐ代表親番号に多機能転送サービスをご契約いただいている場合

多機能転送サービスの設定方法により着信時の動作が異なります。

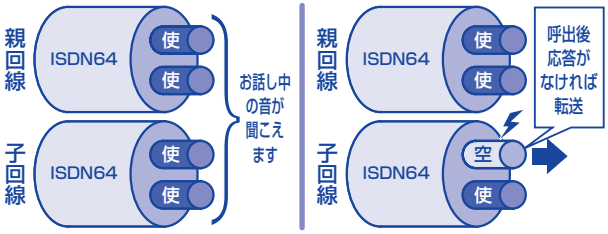
無条件転送

親番号にかかってきた場合は、代表回線の空き回線の状況にかかわらずに転送します。直接子番号にかかってきた場合は、転送せず、子番号を呼び出します。



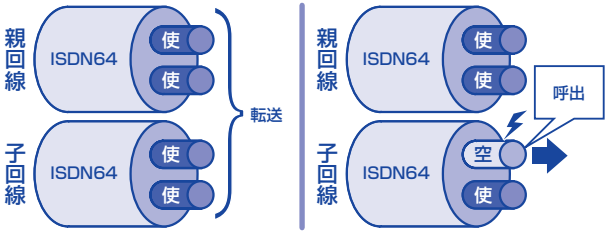
無応答時転送

親番号にかかり、代表回線に空き回線がない場合、お話し中となります。親番号にかかり、代表回線に空き回線がある場合には、その空き回線を呼び出した後、応答がなければ転送します。



話中時転送

親番号にかかり、代表回線に空き回線がない場合、転送します。



Ⓑ代表子番号に多機能転送サービスをご契約いただいている場合

転送されるのは発信者が多機能転送サービスをご契約いただいている子番号をダイヤルし、子番号に直接着信した場合のみです。代表親番号をダイヤルし、代表選択により多機能転送サービスをご契約いただいている子回線に着信しても転送されません。

＊1契約で同時転送できるのは、ISDN64で2通話、ISDN1500で23通話です。それ以上の場合は転送されません

【注意】

◆着信専用回線でのご利用について

着信専用回線からもカスタマーコントロールをご利用いただけます。

◆発信専用回線でのご利用について

代表親回線に限り、発信専用回線でも多機能転送サービスをご利用いただけます。

◆カスタマーコントロールについての注意事項

4または5桁の特番([1422]など)をダイヤルする際に、操作対象電話番号を発信者番号（自己アドレス）として設定する必要があります。

＊発信者番号を設定していない場合には、「お客様のおかけになった電話番号は、現在ご利用いただけません。」のトーキが流れ、カスタマーコントロールによる操作設定ができません。
＊多機能転送サービスを 1 番号のみにご契約いただく場合も設定が必要です。

◆通信機器の条件

ISDN 番号追加サービスをご利用いただいている回線で多機能転送サービスをご契約いただく場合には、発信者番号（自己アドレス）の設定が可能な通信機器をご利用いただき、さらに、その端末の設定が正しく行われている必要があります。

＊契約者回線番号で多機能転送サービスをご利用の場合、この設定は不要です。
＊ISDN 番号追加サービスをご利用でない場合は、この設定は不要です。ただし、ISDN1500 の場合は設定が必要です。
＊発信者番号(自己アドレス)を設定していない場合には、「お客様のおかけになった電話番号は、現在ご利用いただけません。」のトーキが流れ、カスタマコントロールによる転送条件の設定ができません。

以下の変更をした場合、カスタマーコントロールの設定内容がリセットされますのでご注意ください。

- 代表取扱回線からダイヤルイン回線への変更を行った場合。
- 親回線の付け替え、親回線の変更をともなう分割／統合を行った場合。

2 ダイヤルイン回線での多機能転送サービスご利用について

◆着信時の動作について

本サービスをご利用になる場合、電話番号ごとにご契約いただく必要があります。
ご契約いただいた電話番号に着信した場合にのみ転送が機能します。
1契約で同時転送できるのは、ISDN64で2通話、ISDN1500で23通話です。それ以上の場合は転送されません。

＊複数回線でご利用の場合、親回線の回線種別により同時転送通話数は決まります。
例：親回線がISDN64、子回線がISDN1500の場合、1契約で2通話同時転送できます。
親回線がISDN1500、子回線がISDN64の場合、1契約で23通話同時転送できます。

【注意】

◆着信専用回線でのご利用について

着信専用回線からもカスタマーコントロールをご利用いただけます。

◆発信専用回線でのご利用について

発信専用回線でも多機能転送サービスをご利用いただけます。

◆カスタマーコントロールについての注意事項

4または5桁の特番（[1422]など）をダイヤル後に、「設定する電話番号を押してください」というアナウンスが流れます。転送を設定する該当回線（転送先ではありません）を押してください。

＊発信者番号を設定していない場合には、「お客様のおかけになった電話番号は、現在ご利用いただけません。」のトーキが流れ、カスタマーコントロールによる操作設定ができません。
＊多機能転送を1番号のみにご契約いただく場合も設定が必要です。

以下の変更をした場合、カスタマーコントロールの設定内容がリセットされますのでご注意ください。

・ダイヤルイン回線から代表取扱回線への変更を行った場合。
・親回線の付け替え、親回線の変更をともなう分割／統合を行った場合。

ダイヤルイン故障時切替サービスご利用について

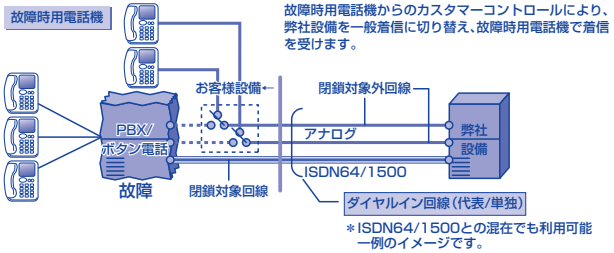
【ご注意】

このサービスのご利用にあたっては、お客様機器（PBX、ボタン電話等）の設定が必要な場合があります。
お申し込みの前に機器保守業者、機器メーカー窓口に必ずご相談いただくようお願いいたします。

◆『ダイヤルイン故障時切替』とは

故障、停電などによりお客様機器（PBX、ボタン電話など）が機能しなくなったときに、カスタマーコントロール※によりダイヤルイン機能を停止させ、一般回線として着信させるサービスです。提供対象はアナログ回線です。

※サービスお申込回線からのダイヤル操作により、弊社設備に対し各種設定/操作を行う機能です。



＊ISDN64/1500との混在でも利用可能
一例のイメージです。

◆回線閉塞

一般着信に切り替えたときに、一部またはすべての回線を閉塞することが可能です。

・カスタマーコントロールにより“閉塞対象外回線数”を指定してください。(指定方法は13ページをご参照ください)
・一般着信に切り替えると、親回線から順に指定した数の回線が一般着信に切り替わり、残りの回線が閉塞となります。
・着信に対する閉塞です。(閉塞回線への着信はできません)閉塞中も該当回線からの発信は可能です。
・ISDN64/1500回線は一般着信への切り替えにより無条件に閉塞となります。

閉塞対象外回線数 = 0（初期値）の場合

閉塞対象外回線数 = 2 の場合

※ISDN回線を除き、親回線に近い方から指定数分が一般着信に切替ります。

閉塞対象外回線数 = 2 の場合

――：アナログ回線
═══：ISDN64/1500回線

◆着信回線選択方式

一般着信に切り替えたときの着信回線選択方式を選択することが可能です。

・カスタマーコントロールにより“着信回線選択方式”を指定ください。(指定方法は13ページをご参照ください。)

■代表タイプ（初期値）

親番号
子番号（閉塞回線の電話番号を含む）
追加番号

ダイヤルイン群に付与されたすべての電話番号で着信が可能です。
お申し込みの回線ハント方式（順次サーチ、ラウンドロビン）に従い、着信回線が選択されます。

■単独タイプ

親番号
子１番号

閉塞回線の電話番号、追加番号では着信しません。

一般着信に切り替わった回線は単独回線として扱われます。
各々の回線への着信はその回線に付与された電話番号でのみ可能です。
回線使用中でも他回線にスリップすることはありません。

1 閉塞対象外回線数の指定方法

閉塞対象外回線数を指定します。

（初期状態は0回線となっています）

①「164」をダイヤルしてください。

トーン
プ・プ・プ…

②「2」をダイヤルしてください。

トーン
プ・プ・プ…

③回線数をダイヤルしてください。

■「0」を指定した場合

アナウンス
全回線閉塞対象です。

■「1」以上を指定した場合

アナウンス
閉塞対象外回線数は△△△回線です。

■実回線数を超える数を指定した場合

アナウンス
閉塞対象回線はありません。

＊回線数が1～2桁の場合、「0」を付加して2～3桁で登録しても同じ結果となります。
例： 5回線の場合 ⇒ 「5」、「05」、「005」いずれも同じです。
12回線の場合 ⇒ 「12」、「012」いずれも同じです。

2 一般着信への切替時の着信回線選択方法

一般着信への切替時の着信回線選択方式を選択します。

①「164」をダイヤルしてください。

トーン
プ・プ・プ…

②「3」をダイヤルしてください。

トーン
プ・プ・プ…

■代表タイプ(初期値)を選択の場合

③「0」をダイヤルしてください。

アナウンス
代表タイプにセットいたしました。

■単独タイプを選択の場合

③「1」をダイヤルしてください。

アナウンス
単独タイプにセットいたしました。

3 一般着信への切り替え、閉塞方法

一般着信への切り替え、閉塞を行います。

（初期状態はダイヤルイン着信、閉塞解除です）

①「164」をダイヤルしてください。

トーン

プ・プ・プ…

②「1」をダイヤルしてください。

アナウンス

閉塞を実施します。

＊：お客様機器（PBX、ボタン電話など）が正常に機能している状態において、この操作を行うと着信できなくなりますのでご注意ください。

4 ダイヤルイン着信への切り替え、閉塞解除方法

ダイヤルイン着信への切り替え、閉塞解除を行います。

（初期状態はダイヤルイン着信、閉塞解除です）

①「164」をダイヤルしてください。

トーン

プ・プ・プ…

②「0」をダイヤルしてください。

アナウンス

閉塞を解除します。

＊：お客様機器（PBX、ボタン電話など）の故障、停電が復旧したことを確認した後、この操作を行ってください。

5 設定状況の確認方法

現在の状態を確認します。

①「164」をダイヤルしてください。

トーン

プ・プ・プ…

②「5」をダイヤルしてください。

アナウンス

閉塞実施中（解除中）です。閉塞対象外回線数は□□□回線です。
回線ハント方式は代表（単独）タイプです。

【注意事項】

◆ダイヤルイン着信⇔一般着信の切り替えは自動ではありません。お客様機器（PBX、ボタン電話など）の故障/停電、またその復旧をお客様にてご判断いただき、カスタマーコントロールにて切り替えをお願いいたします。故障/停電、またその復旧の判断方法については、ご利用機器/形態により異なりますので、機器保守業者、機器メーカ窓口にご確認ください。

◆閉塞は着信閉塞となります。（閉塞回線への着信はできません）閉塞中も該当回線からの発信は可能です。

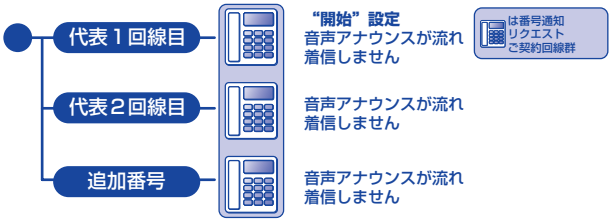
◆PB信号方式のみでなくモデム信号方式（モデムダイヤルイン）でもご利用可能です。

◆番号表示サービスとあわせてご利用の場合、ダイヤルイン機能を停止し一般着信に切り替えた状態では、番号表示サービスも停止します。

◆カスタマーコントロールについて
- ダイヤルイン群内のどの回線からでも実施可能です。
- ダイヤル信号方式（PB/DP）を問わず実施可能です。
- 着信専用回線からも実施可能です。
- ISDN回線からも実施可能です。（PB信号送出機能が必要です）

番号通知リクエストサービス ご利用について

代表取扱回線／ダイヤルイン回線では、回線群の親回線のサービス状況に応じて、代表取扱の子回線及びISDN追加番号も動作します。



＊カスタマーコントロールは、代表群の子回線およびISDN追加番号からもご利用いただけます。
＊カスタマーコントロールの具体的な操作方法等は、「付加サービス（ご利用ガイド総合版）」をご参照ください。

【注意】

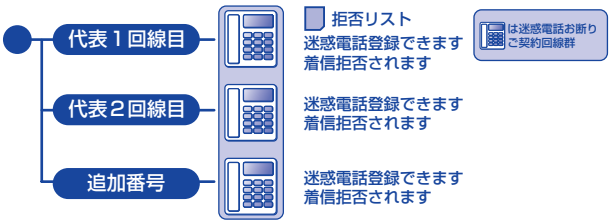
◆移転、親回線の電話番号変更、代表群の解除またはサービス変更を行った場合は、サービス設定がリセットされ、初期設定の「停止」に戻ります。

◆同一回線群に着信できる回線がある場合は、親回線が発信専用回線であってもサービスをご利用いただけます。なお、サービス設定は回線群として共通となります。

着信お断りサービス ご利用について

（1）代表取扱回線／ダイヤルイン回線での動作について

代表取扱回線群または、ダイヤルイン回線群に登録の電話番号を共有して、子回線及びISDN追加番号も動作します。



（2）迷惑電話の登録方法について

親回線の回線種別に関わらず「ISDN回線」の登録方法となります。

番号	設定項目	設定方法
①	迷惑電話の相手の登録方法	受話器を置かずにアナウンスを聞きます。 144 ＋ 2
②	登録電話番号の最新１件の削除方法	144 3
③	登録電話番号の一括削除方法	144 9

：アナウンスに従ってダイヤルしてください。：受話器を置いてください。
＋：数字を続けてダイヤル。

＊カスタマーコントロールは、代表群の子回線及びISDN追加番号からもご利用いただけます。
＊カスタマーコントロールの具体的な操作方法等は、「付加サービス（ご利用ガイド総合版）」の「ISDN回線編」をご参照ください。

【注意】

◆IVR（自動応答端末）やボイスメールなど、着信を前提とした機器に接続の場合は、発信者の切断後に着信お断りアナウンスが流れ、お客様の利便性を損なう恐れがありますのであらかじめご了承ください。

◆移転、親回線の電話番号変更、代表群の解除またはサービス変更を行った場合は、サービス設定がリセットされ、拒否リストも消去されます。

◆同一回線群に着信できる回線がある場合は、親回線が発信専用回線であってもサービスをご利用いただけます。なお、拒否リストは回線群として共通となります。

サービス提供者：ソフトバンク株式会社

※記載されている内容は2016年8月現在のものです。
※サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
※本冊子のサービスに対する記述は、情報を提供する目的で書かれたものであり、保証するものではありません。
※「おとくライン」サービスの最新情報はホームページ、または「おとくライン」カスタマーセンターでご案内しております（お問い合わせ先の詳細は裏表紙をご参照ください）。
※記載されている会社名およびサービス名は、各社の登録商標または商標です。
※本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。

SoftBank

付加サービスのお申し込み・設定変更
http://tm.softbank.jp/poq/
よくあるご質問（FAQ）
http://tm.softbank.jp/pofaq/

お電話でのお問い合わせ
「おとくライン」カスタマーセンターへ 9:00～18:00／土日祝・年末年始を除く
0088-221-221 または **0120-917-221**

DRPGB-13-A 2016.08KPC